

# いさーち

日立市教育研究所報 289号

平成30年12月19日発行

〒317-8601 日立市助川町1-1-1

日立市教育研究所長 勝間田 忠彦

不登校対策支援事業

## 「歴史・動物ふれあい体験」

10月9日(火)、「歴史・動物ふれあい体験」を行いました。午前中は日立市郷土博物館でアンギン編みと勾玉作りに挑戦しました。アンギン編みでは、あっという間に編み方の手順を覚え、集中して作業に取り組みました。勾玉作りでは、一人一人が作りたい形にするために一生懸命石を削りました。きれいな色と丸みを帯びた形に仕上がると嬉しそうにお互いに見せ合いながら交流ができました。



午後のかみね動物園で、様々な動物に触れ合ったり、餌あげなどを体験したりしました。「小学校1年生の時に来た。」「懐かしい!」などそれぞれの思い出を語りながら園内を見学しました。

参加した生徒は、「次回も参加したい。」と意欲を見せる生徒もあり、1日活動を行うことができた達成感につながったのではないかと思います。今後も、いろいろな活動を通して、少しずつ自信をつけて生活して欲しいと願っています。

適応指導教室 ちゃれんじくらぶ

## 「第2回 調理実習」

12月7日(金)に多賀教室、12月14日(金)に日立教室にて、今年度2回目の調理実習を行いました。教室ごとにメニューを話し合い、協力して調理をすることができました。

多賀教室の献立は、スポンジから作ったクリスマスケーキと滑らかな口当たりのコーンスープ、油で揚げないヘルシー唐揚げです。

日立教室の献立は、肉と野菜たっぷりの温かい鍋物と大学いも、かわいいイチゴのサンタです。

どちらの教室も友達や先生方、相談員たちと楽しみながら、おいしい料理を作ることができました。お腹も心もとても温まり、大満足でした。御協力を頂きました先生方、ありがとうございました。



## 「第2回 特別支援教育研修会」

12月14日（金）に日立特別支援学校特別支援教育コーディネーターの木村重文先生、武藤享子先生を講師に迎え、研修を行いました。前半は、講師の先生からの講話、後半は、学校の現状についてグループ協議を行いました。

研修内容 「特別支援教育の教育課程とコーディネーターの役割」

- 1 特別支援学級 通級指導教室の教育課程
- 2 教育支援計画のこと
- 3 特別支援教育コーディネーターの役割



### 感想

- 木村先生の話はいつも分かりやすく、励みになります。今日も決まり的なことを改めて確認することができました。グループ協議も各学校からの情報を得ることができ有意義でした。その後の質疑も10分とっていただき良かったです。学務課の話も聞けて良かったです。
- 教育課程について、とても分かりやすくお話しくださり、とても参考になりました。グループ協議では、多くの先生方にアドバイスをいただき、すぐに学校で担任に伝えたいと思いました。

## 📣 1月・2月 研修会のお知らせ 📣

- ①平成31年1月26日（土） 不登校に関する研修会 小野村 哲 先生  
「不登校の心に寄り添い、育ち学びを支えるために」  
～『みんなちがってみんないい』を考える～  
○詳細は、園・学校宛ての案内をご覧ください。
- ②平成31年2月2日（土） 発達障害の理解と支援研修会 阿部 利彦 先生  
「発達が気になる子の特別支援教育 リフレーミング」  
～子どもたちへの見方を変えて味方になろう～  
○詳細は、1月にお知らせいたします。
- ③平成31年2月16日（土） 子育て・教育講演会 南雲 明彦 先生  
「ボク、学習障害と生きています」  
～気づきから理解へ～  
○詳細は、1月にお知らせいたします



☆たくさんの御参加をお待ちしております。☆

### 編集後記



平成最後の年越しまであと少しとなりました。園や学校では、子どもたちのために1年のまとめをされていることと思います。新しい年も、子どもたちや先生方にとって楽しい学級・学校になるように願っております。寒くなってきましたので、体調に気をつけて、よい年をお迎えください。

（中村）